



シンポジウム

上智大学国連Weeks October, 2017

日本企業への期待:

メガスポーツイベントに人権尊重を組み入れる



© UN photo/Evan Schneider

日時 2017年10月25日(水)

13:30—16:00 (開場13:00)

会場 上智大学四谷キャンパス
2号館17階国際会議場

東京2020オリンピック・パラリンピックが持続可能な大会となるために、人権尊重を体制に組み込むことが求められています。大会組織委員会は「持続可能性に配慮した調達コード」を策定し、関連企業はこれを遵守するとともに、ビジネスと人権の課題に取り組むこととなります。また、2030年までのSDGs達成のマイルストーンとしても東京2020大会は大きな意味をもつでしょう。このシンポジウムでは、大会への期待と進行中の各取り組み状況について議論します。



有馬利男理事



曄道佳明学長

【プログラム】

＋総司会 浦元義照 上智大学グローバル教育センター特任教授

＋開会の挨拶 曄道佳明 上智大学学長

＋基調講演1 「東京2020大会の持続可能性への取組
～持続可能性に配慮した調達コードについて～」

田中丈夫 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック
組織委員会大会準備運営局 持続可能性部長

東京2020における「持続可能性に配慮した調達コード」策定の背景や苦情処理メカニズムのあり方などについて、解説します。

＋基調講演2 “Ethical Sourcing is an Olympian Feat: How to Prevent
Human Rights Harms at Mega-Sporting Events”

ケンディル・サルシート

米国NPO NomoGaia (ノモガイア) エグゼクティブ・ディレクター
ノモガイアは、企業の人権ポリシー、事業運営、実績とプロジェクト企画が人権尊重を反映するように、人権デューデリジェンスのフィールドベースのプロセスを策定しました。講演ではメガスポーツイベントの調達コードの必要性、2020年大会が日本企業にとって、サプライチェーンマネジメント強化の機会として活用することの重要性を考察します。

＋パネルディスカッション (氏名ABC順)

土井香苗 国際人権NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表

宮田千夏子 ANAホールディングス株式会社コーポレートブランド・CSR推進部長

毛利勝彦 国際基督教大学教養学部長

高橋大祐 真和総合法律事務所パートナー弁護士/日本弁護士連合会弁護士業務改革委員会CSR内部統制プロジェクトチーム副座長

田中丈夫 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック組織委員会大会準備運営局 持続可能性部長

山田美和 日本貿易振興機構アジア経済研究所 新領域研究センター 法・制度研究グループ長

モデレータ: 名越正貴 EY Japan 気候変動とサステナビリティサービス マネジャー

＋Q&A

＋閉会の挨拶 有馬利男
グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事



浦元義照教授



田中丈夫氏



ケンディル・サルシート氏



土井香苗氏



宮田千夏子氏



毛利勝彦教授



高橋大祐氏



山田美和氏



名越正貴氏

共催: 上智大学、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン、
EY Japan 気候変動とサステナビリティサービス

使用言語: 日本語・英語(日英同時通付)
要事前申込、入場無料

参加申込みはこちらからどうぞ
<https://eipo.jp/sophia/seminars/>

